

長畝ふるさと通信



【2021年8月号】

■ 激震！！

8月20日、JA全農新潟県本部が令和3年産米のJA仮渡金を発表しました。佐渡コシヒカリは昨年に続き1俵1,800円もの大幅減額となりました。コロナ感染症の影響によるライフスタイルの変化により、家庭での食事が増えた一方で外食の機会が大きく減ってしまったため、お米全体の消費量が更に落ち込み、過剰在庫となっていることが原因とされています。今年6月末の全国の民間在庫は219万トンにまで積み上がっているそうですが、日本人はその間、いったい何を食べて暮らしていたのでしょうか。コロナで餓死したニュースは聞いたことがなく、コメ以外の食べ物が消費されていたことは間違いありません。この状況はたとえコロナが一定終息したとしても戻ってこないと考えざるを得ません。深刻な「コメ離れ」です。「作りたくても作れない、作っても安い」状況がこれからも続いていけば、コメ生産者は離農するしかありません。

令和1年産佐渡コシヒカリのJA仮渡金は1俵15,000円でしたが、3年産は12,500円となり、わずか2年の間に2,500円も下がったこととなります。一方で魚沼コシヒカリや新之助は価格据え置きです。この10年間、魚沼に追いつき、追い越せとキ認証米を中心に頑張ってきましたが、またもや差が開いてしまいました。やはりトップブランドでなければだめなのか・・・佐渡のコメ百姓はかなり落ち込んでいます。毎年100人づつ減少している生産者数に更に拍車をかけるのではと



心配しています。このままでは令和4年産米はもっと厳しい生産調整がかけられ、主食用米以外の「水田活用米穀（飼料用米など）」への転換が加速していくことでしょう。佐渡は稲作が唯一の主要産業ですが、未来を明るく照らす材料は見つかりそうにありません。

ライスセンターの屋根から撮影した長畝の田園風景です。そろそろ緑のじゅうたんがまばゆいばかりの黄金色に変化する時期ですが、いつまで輝いてくれることやら・・・

■ 収穫を前にして

今年は昨年とは違い、空梅雨だったので日照時間は十分ありましたが、その分草丈が平年よりかなり伸びてしまい、8月後半の雨で既に倒伏が見られます。「稔ほど頭を垂れる稲穂かな」の通り、豊作であってほしいのですが…コシヒカリの収穫は9月15日頃からを予定しています。近年、8月の大雨は全国各地に容赦ない被害を及ぼし、台風も年々強力になってきています。自然相手の農業も大変ですが、コロナの相手も大変ですね。



■ 新潟次郎

コメが売れなくなって国では「主食用米の転換」を強力に進めだしました。佐渡でも牛の餌になる飼料用米やWCSIに転換する生産者が増えてきました。新潟次郎も飼料米用の品種で8月末から9月上旬に収穫されますが、JAのカントリーエレベーターではキャパオーバーになってしまい、2



年前から組合で乾燥調製作業を請け負っています。多い日は生モミで50トンも受け入れる日もあり、連日右往左往しながら作業に追われています。ボクもフォークリフトに乗ってモミを受け入れホッパーに運搬する作業をしています。地面に立つ時間よりフォークリフトに乗っている時間の方が長くなっています。米価の下落をカバーするため文句も言わず黙々と働く勤労おじさんです。

- 写真のコンテナが多い日には100以上入ってきます

■ ウィズコロナっていうけど…

累計感染者数は150万人を超え、死者数も16,000人以上、自宅療養という名の「自宅放置」で命の選択が迫られるなど災害クラスの医療崩壊が起きています。「野戦病院」って戦時中の単語まで出て…なのに世間様はそれほど緊張感もなく日常生活を送られている様子。これが「ウィズコロナ」ってことだろうか…。唯一の頼みの綱であるワクチン接種も2回接種完了者は未だに半数程度で、感染力の強い「デルタ株」やワクチン効果を弱めると言われる「ミュー株」などの新手が次々と出現してきます。第5波が沈静化すれば、また経済を回すため「ワクチンパスポート」だの「ゴートウトラベル」だのやりだして国中の人流をかき回し、その結果第6波がやってくる…この繰り返しになるのでしょうか。年がら年中どこかで緊急事態宣言だ、マン防だ、特別警戒だと自由を奪われながら生活するなんて耐えられません。「私の使命は国民の命と財産を守ることです」と声高に訴えていた人々も、やれ総裁選だ、解散総選挙だと自らの保身に迷走する始末。誰かに頼っていても事態は好転しませんな。

■ 玄米年間予約いただき、ありがとうございます

令和3年産米の年間予約をたくさん頂きました。おかげさまで会員数も100人を突破しました。皆様には感謝しかありません。こうして支えてくださる人々がいるおかげで、何とかお米作りを続けていくことが出来ています。何かを我慢しながら生活していくことは苦痛ですが、我慢の先に明るい未来が来ると信じて、笑いながら生きていきましょう。

・・・おかわりは自由です



佐渡ブランドの農畜産物がラッピングされた大型トレーラーです。どこかで見かけたらドライバーに手を振ってあげましょう。



秋らしいうろこ雲に夕焼けが映えます。夜にはコオロギの鳴き声が日に日に大きくなり、すっかり秋らしくなりました。早くコタツを出したい今日この頃です。